

# 企業は「持続可能な開発目標(SDGs)」をいかに 企業戦略に活用することができるのか？

2015年に「国連持続可能な開発サミット」において、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals：SDGs）が国際社会で合意されました。国内外においても、大小様々な社会的課題が山積しています。その一方で、それらの「課題」を「機会」や「チャンス」と捉え挑戦する企業や団体があることも事実です。

この度、株式会社ソーシャルインパクト・リサーチと株式会社ライフドラムラボと共同し、企業戦略や金融の観点から、いかにSDGsを企業戦略に活用すべきかについてセミナーを開催します。

セミナー後には懇親会を予定しています。この機会を、マルチステークホルダーによるビジネスの共創や、SDGsの活用や理解を深める契機にして頂ければ幸いです。

## ■ このようなお客様へ

- ・ SDGsを社内でどう展開していこうかがわからない
- ・ SDGsをどういう目的でおこなうべきか迷っている。経営陣の理解が得られない
- ・ SDGsに取り組んだ成果をどう測っているのかわからない



## タイムスケジュール

18:45~	受付開始
19:00~	挨拶 株式会社ソーシャルインパクト・リサーチ 代表：熊沢拓
19:05~	ワークショップ
19:30~	「企業がSDGsでインパクトを生み出すための7段階ステップとは？」 株式会社ソーシャルインパクト・リサーチ 代表：熊沢拓
20:00~	「SDGs活用事例と、企業価値（時価総額）とSDGsの関係性 ～ESG投資からSDGs投資、SDGs Indexの可能性とは？～」 株式会社ライフドラマラボ 代表：今井健太郎
20:30~	質疑応答
20:45~	交流会



### 登壇者

株式会社ソーシャルインパクト・リサーチ パートナー 熊沢拓

慶應大学大学院卒業、早稲田大学大学院博士課程修了 ジャフコ、ソフトバンクグループでベンチャーキャピタリストとして活躍。2010年よりソーシャルインパクト・リサーチ社を設立し、企業の社会的価値の定量的な評価手法を独自開発し、内閣府プロジェクトで社会企業100社の社会的インパクト評価をおこなう。また、ソニー、LIXIL、損保ジャパン、博報堂など国内グローバル大企業約12社の社会的インパクト評価をおこなう。ESG投資のレコメンドシステムを開発し、国内の大手資産運用会社向けに多数の講演、アドバイザーをおこなう。現在、SDGs×ソーシャルイノベーションFBページを運営する。

株式会社ライフドラマラボ 代表 今井健太郎

早稲田大学 政治経済学部 国際政治経済学科卒 野村総合研究所入社 主に途上国の保険領域の調査研究、リスクマネジメントに関わるコンサルティング活動、またファンドラップ販売推進のための、ITソリューション企画・営業 ソーシャルインパクトアクト編集長、インサイトテックポータル発起人、SDGs Insight代表 埼玉出身、さいたま市産業創造財団 専門コンサルタント 趣味は、囲碁と途上国巡りで囲碁においては、第54回全日本大学囲碁選手権で全国制覇

### ■お申込み方法

先着順となります。

### ■詳細

日時：2017年6月29日 19:00~21:00

対象：企業経営者、企業CSR、企業IR、企業戦略部門 等

料金：3,000（税込）

定員：50名（先着順）

### ■会場

キャスレーコンサルティング株式会社セミナールーム

住所：東京都渋谷区恵比寿4-20-3

恵比寿ガーデンプレイスタワー31F

交通：JR 山手線、埼京線/湘南新宿ライン

恵比寿駅 東口 スカイウォーク(動く歩道)経由 徒歩5分

東京メトロ日比谷線 恵比寿駅 1 番出口 徒歩7分



建物外観